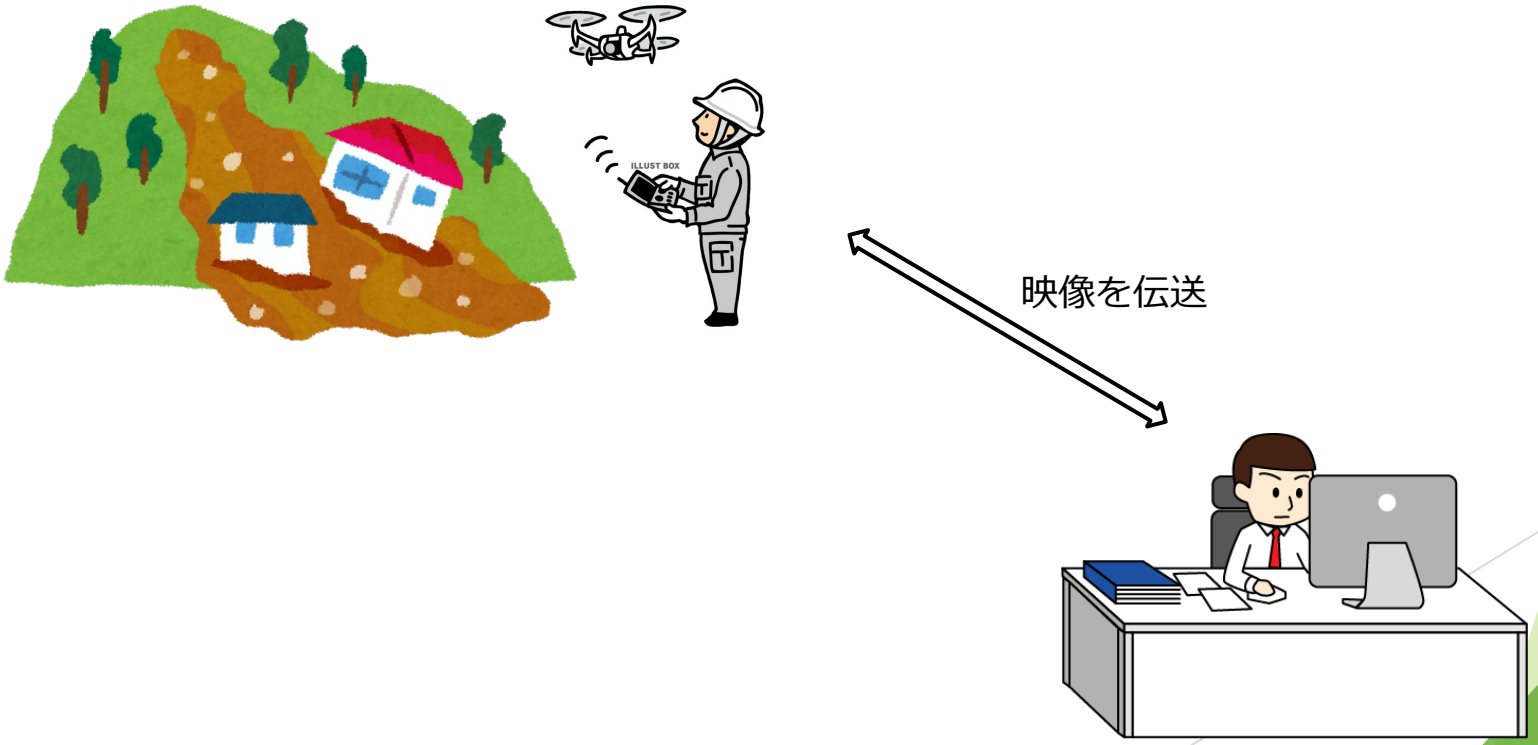
映像伝送サービスとは？

・拠点（事務所・家）と離れた場所の映像をインターネット通信を用いてタイムリーな映像を提供※1するサービス。

例：昨今の自然災害時における現状をいち早く確認する手段の一つとしてドローンでの現地状況確認を撮影しそのLIVE映像を事務所・家にいながら確認する事ができます。



※1　提供するには、インターネット環境が必要となります。

APR
Communication

システムの活用事例

①ドローンを用いた災害時の初期対応手段

・昨今の自然災害時における現状をいち早く確認する手段の一つとしてドローンでの現地状況確認を実施できます。

②直接現場に行かずとも現地視察

事務所にいながら、離れた現場の状況を確認する事ができます。
※現地にシステムを配備する事が条件で、それ以外は弊社社員が現地に行く必要はございます。
例：離島における現況確認
例：検査等の実施

③多地点接続

グローバルIDを利用した多地点接続を可能とし、情報共有が簡単に行えます。
グローバルIDを取得する事で携帯端末からの接続も可能となります。

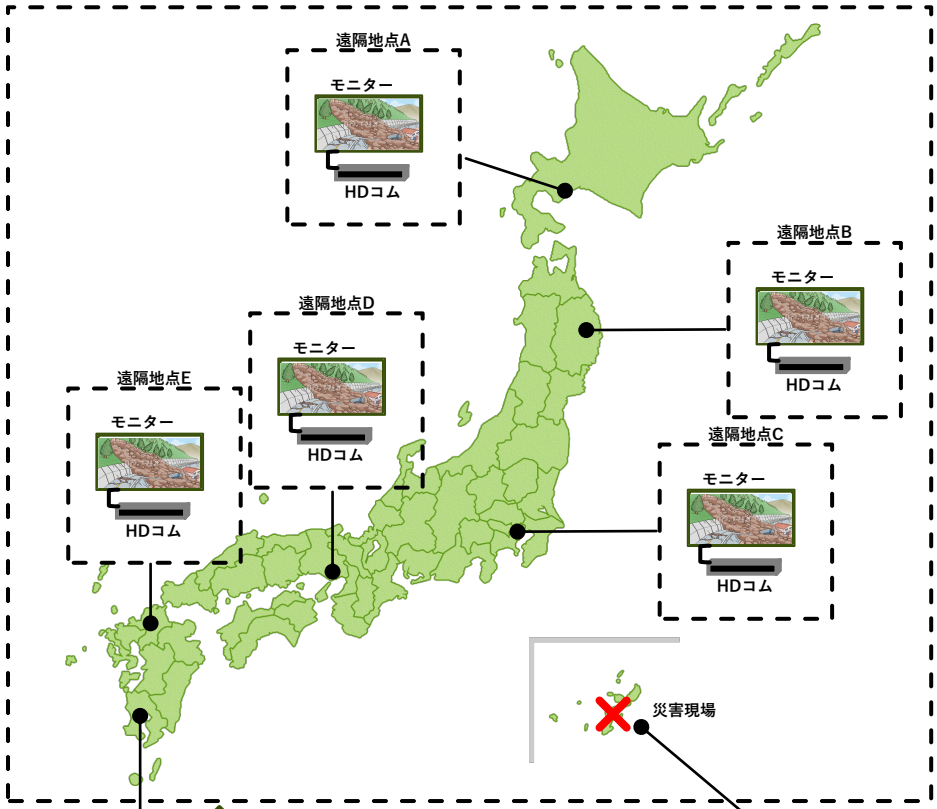
④電波の無い箇所でも衛星回線使用可能

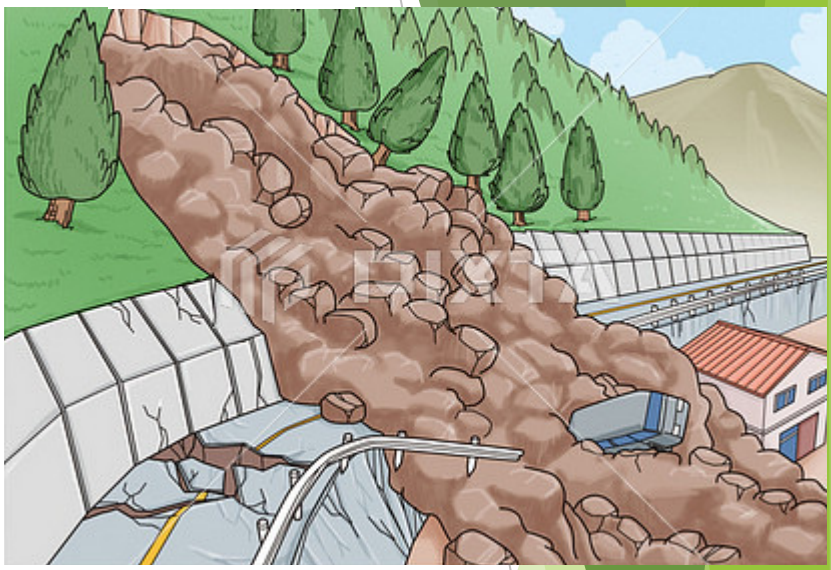
弊社では、衛星アンテナの通信サービスに加入しており、災害時のインターネット回線切断時にも使用が可能となります。
※大規模災害に伴い大元の通信サービスに影響がでた場合は通信できない事もございます。

APR
Communication

APR Communication

ドローン＆HDコム連携映像配信イメージ図

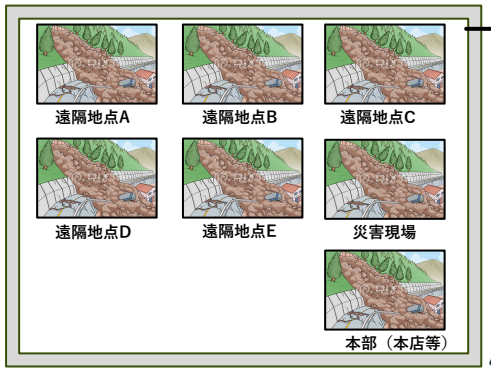




インターネット

本部（本店等）

各拠点接続モニター



HDコム

PC

インターネット

現場【作業用車両内】（現場仮設作業場）

PC

HDコム

ポータブル電源

Wi-Fiルーター

・にて現地インタネット環境なしでも
衛生通信を用いて接続

スターリンクアンテナ

APR Communication